きもべつ広報

08
August
2022／R4
Vol.854

Public Relations of Kimobetsu

特集 地域共生社会の実現を目指して

第9回スイートデコレーションカップ女子硬式野球北海道大会

7月9日、10日に第9回スイートデコレーションカップ女子硬式野球北海道大会が開催されました。今大会は出場8チームを2グループ（喜茂別会場・札幌会場）に分けたリーグ戦とし、ホーネッツ・レディースを含む4チームが喜茂別町営球場で試合を行いました。ホーネッツ・レディースは、9日の試合では優勝経験のある強豪2チームと対戦し、粘りを見せるも大差をつけられての敗戦となりました。翌10日の新陽高校戦では、しっかりと気持ちを切り替え、エースの好投もあり4-1と勝利しました。大会成績は8チーム中6位と振るいませんでしたが、選手たちは野球ができる環境や応援してくれる方への感謝を感じながら、本拠地喜茂別でのプレーを全力で楽しんでいました。

町イメージ
キャラクター
ウサパラくん

地域共生社会の実現をめざして

「地域共生社会」とは世代や分野を超えてつながることで住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域を共に創っていく社会のことです。誰もが安心して暮らせる社会を目指し、町が進めている取組について紹介します。

地域共生社会の実現が求められる背景

少子高齢化が問題になり久しいですが、医療の発展が平均寿命を伸ばした一方、認知症、生活習慣病（がん・心疾患等）が増加し、そのような課題を抱える独居の高齢者・障がい者世帯も増えました。

近年、うつ病・老老介護・閉じこもりなど、世帯内での課題が多様化・複雑化しており、長引く新型コロナウイルス感染症が閉じこもりや収入減少にさらに追い打ちをかけました。また、生産年齢人口に対して、老年人口が増えることで、支え手が減少し、介護者一人当たりの負担が増大します。各種サービスの整備状況も市町村間で大きな格差が存在し、適切なサービスを地元で受けられない状況があり、喜茂別町も例外ではありません。

それをカバーするためには、支える側と支えられる側の区切りをなくし支え合う、すべての住民が参加し共生する『地域共生社会』が必要です。

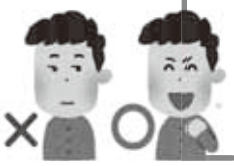
地域共生社会が目指すもの

①生活課題を抱えた人が孤立せず地域社会で「共生」し、「参加」できる社会

生活課題を抱えた人が孤立しない（させない）ためには認知症、障がい等に対する、周囲の人の正しい理解の醸成が必要です。

②本人含め、すべての住民が生活課題を「我が事」として、その把握・解決に「参加していく」社会

いま自分の周囲で起こっていること（認知症・障がい・病気・閉じこもり等）は決して「他人事」ではなく、将来、自分にも起こりうる「我が事」と捉え、「住み慣れた地域で最期まで自分らしく生きる」ために、それを支えてくれる地域づくりを「自分事」として危機感を持つことが必要です。



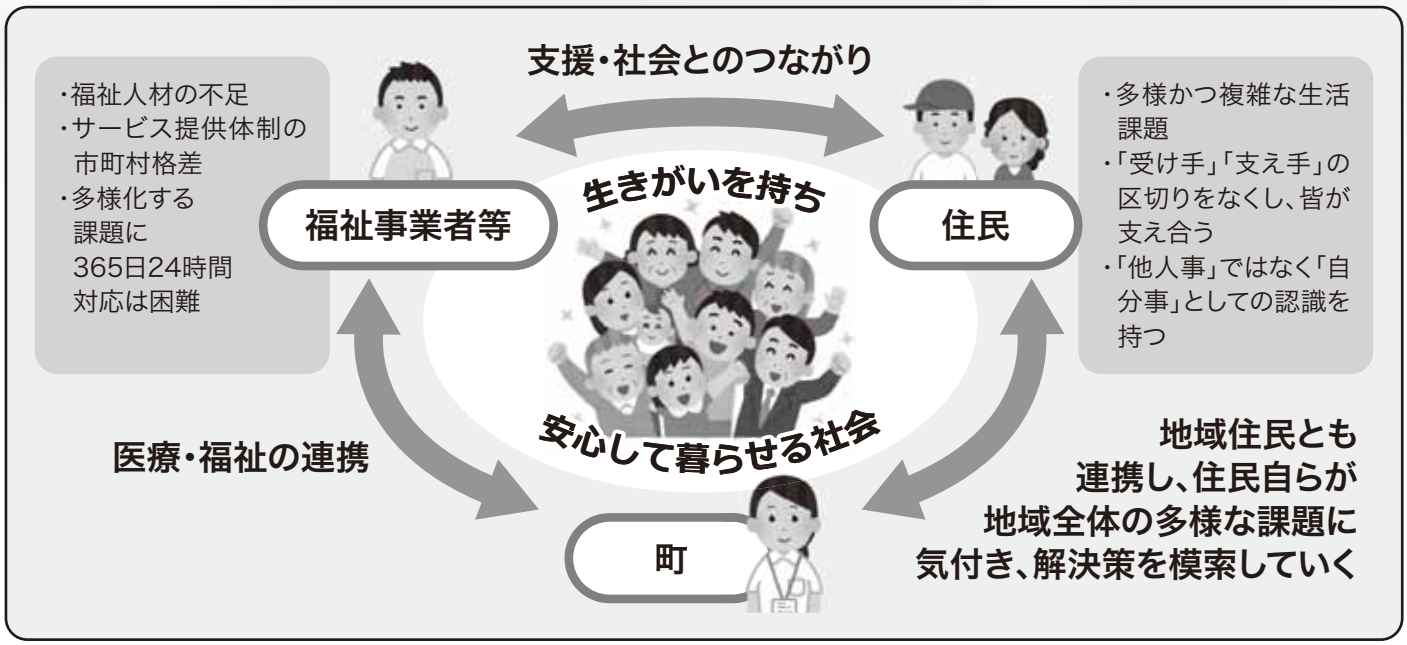
喜茂別町の取組

喜茂別町では、民生委員、ボランティア、配食サービス等によって、地域の見守りを行っているほか、町民や学校向けに認知症サポーター養成講座を開催し、認知症に対する正しい理解の醸成を図っています。また、認知症などで判断能力が低下した方の権利擁護を目的とし、市民後見人の養成も行っています。

また、令和3年度から、スマートフォン等のICTを活用した介護予防事業も試行的に開始し、手軽な安否確認の手段にもなっています。

各サークル活動では、町民同士が交流し、社会と繋がる機会が創出されています。

一方、実際のケース対応としては、行政各関係部署、町立クリニック、厚生連、渓仁会、愛和福祉会、町社会福祉協議会等を中心に、町外の医療機関やサービス事業所と連携を図り支援を行っています。関係機関だけではカバーしきれない住民の日常生活を、地域で「さりげなく」見守ってもらい、適宜連携することで、大事を未然に防ぐことに繋がります。



生活の中の地域共生

自分たちの身の回りで考えられる地域共生にはどのようなものがあるでしょうか。

◆ここ数日、隣のお宅の郵便ポストに新聞が溜まるようになった。自宅の中はテレビがついているようだ。

←

・声をかけてみよう
・役場に相談してみよう

◆最近になって、近所の高齢者の方が、昼夜問わず、出歩いている。

←

・少し注意して様子をみてみよう
・役場に相談してみよう

◆悩みを抱えているが、近所の方には知られたくない。誰に相談したら良いだろう。

←

・一人で抱えないでください。
・遠慮なく役場にご相談ください。

高齢や障がいなどで閉じこもりがちになると、周囲からは、その人の異変に気付けず、気付いたときには手遅れ、孤独死も実際に発生しています。

ふとした気づきが、誰かの一大事を救うかもしれません。制度ではカバー仕切れない住民の日常生活を、「さりげなく」見守ってもらい、関係機関と適宜連携することで重大事を未然に防ぐことに繋がります。

今後について

今後も、地域全体で多様な課題に気付き、制度の垣根を超えて多職種・多機関が協働推進していく必要があり、その「気付き」や「解決」に向けて、地域による主体的活動との連携が一層求められます。

同時に、顔の見えない方の課題に早期に気付くために、訪問による支援だけではなく、適切なアプローチ方法を関係機関と慎重に検討していかなければなりません。

喜茂別町民憲章にある「たがいに認めあい、いたわりあって未来を育てる町をつくる」、第6次総合計画にある「『ひと』と地域が支え合う、住み続けられるまち」を推進するため、地域全体で協力し、未来の喜茂別町を創っていくことが大切です。

次ページに続く◀

地域の福祉事業者の活動

①ようてい訪問看護ステーション

訪問看護により、症状観察や点滴等の医療処置を行い、関係機関と適宜情報共有を行っています。また、体調に影響を与えうる気持ちの変化にも注意し、身体だけでなく、取り巻く環境を把握して、住み慣れた地域で安心して生活できるようなお手伝いを心がけています。子どもから高齢者の方まで、いつでも必要な支援、援助ができるような福祉に優しい喜茂別町を願い、その実現に、医療職として携わりたいと思います。（訪問看護職員）

②きもべつ喜らめきの郷

人と人、人と社会が繋がり、支え合う環境整備を進めるため、町立クリニックや行政等と連携し、課題を抱えた方を各種サービスや病院受診など地域へ繋いだり、在宅生活が難しい方には、施設入所等を含めた支援を行ったりしています。しかし、町全体として、障がいや認知症に対する知識や支援体制が不十分であり、今後は、行政と協力して、認知症予防等の普及啓発を推進し、誰もが住みよい町にし、人生の最期を自宅で迎えたいという希望に寄り添えるよう、また、地元の施設に入居できる体制作りに努めます。（在宅ケアマネジャー）

コロナ禍により面会や外出等の制限を受け、入居者の皆さまとご家族や知人、地域との関わりが途絶えたり、希薄になってしまわないかと、とても心苦しい日々でした。入居者一人ひとりが、施設にいながらも、しっかりと家族・地域社会の中の一人でいられるように、そして、喜らめきの郷が地域社会の中で求められる役割を、施設職員として意識し、地域共生社会実現のために取り組みます。（施設ケアマネジャー）

③愛和の里きもべつ

「愛和の里きもべつ」は羊蹄山麓唯一の障害者支援施設として、障がいを持つ方が社会の一員として積極的に社会参加できるよう、地域との繋がりを大切にしており、高齢者住宅の除雪作業や資源物の分別作業など、地域貢献できる活動を通し、障がいを持つ方の「就職したい」「一人暮らしがしたい」等の希望の実現に向け、職員とともに取り組んでいます。福祉施設の役割やニーズは時代とともに変化しますが、障がいを持つ方の「社会参加」や「自己実現」に向けた取組は昔も今も変わりません。今後も、「地域」と「施設利用者の皆様」のためを念頭に事業運営をしていきます。（副施設長）

④喜茂別町社会福祉協議会

地域でのサロン活動を行い、居場所づくりや携帯電話等の操作説明、認知症講演会など様々な活動を行っています。日々の業務の中では、どんなに小さな課題でも全力で課題解決に取り組むことを大切にしています。今後はさらに多くの地域で開催し、子どもから高齢者まで幅広い世代の方に参加してもらい、情報共有や個別課題・地域課題に取り組みたいと考えています。（社協職員）

町内の学校を対象に福祉の意味や高齢者へのコミュニケーションのポイント等の講義や高齢者疑似体験セットを使用した体験型の授業を実施しています。福祉の授業では、福祉を「他人事」ではなく「自分事」として考えてもらえるように努めています。今後は学校のみならず、様々な場所で福祉に関する理解と関心を深めてもらうような活動を行っていきます。（社協職員）

在宅高齢者を対象に、ふれあい福祉センターでの入浴や食事等の日々の生活支援、レクリエーション活動を通した認知症予防活動や体力維持の活動、定期的な買い物レクなど、自立した生活を目指した様々な活動を行っています。その日一日を楽しく過ごし、満足して帰宅していただくこと、利用者の方々との『一日一日を大切に』、帰宅の際には「また来るね」と言ってもらえるような対応を大切にしています。

ここ数年は新型コロナウイルス感染症の影響で活動に制限がありましたが、今後は社会情勢を見極めた上で、ボランティアの受入・保育所・小中学校との交流、外出レクを通じ地域社会との関わりを深める活動を行っていきます。（デイサービス職員）

【お問い合わせ先】
元気応援課福祉係
電話（ＩＰ）／55-5101

まちのできごと

2022. 6月▶7月

6/16～17 小学校修学旅行 in 函館

喜茂別小･鈴川小合同の修学旅行が行われ、6年生14名が函館を訪れました。班別に行われた自主研修では、自分たちが立てた計画に沿って北方民族資料館等の施設を見学し、北海道の歴史や文化について学びを深めました。研修中は、反対方向の市電に乗ったり、目的地になかなかたどり着けなかったりとハプニングが絶えませんでしたが、現地のいろんな方に助けられながら無事研修を終えることができました。1日目の最後には、函館山頂上から百万ドルの夜景を望み、子どもたちからは「きれい～!」と歓声が上がりました。

6/25 保育所運動会

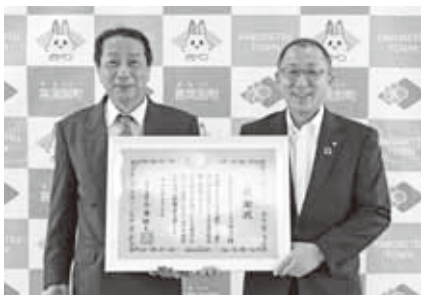
喜茂別保育所で第64回運動会が開催されました。この日に向けて何度も練習を重ねてきた子どもたち。かけっこやおゆうぎ、綱引きなどの競技では練習の成果を発揮し、参観していた保護者からは大きな拍手が送られました。

6/25 交通安全母の会「無事故の日」啓発活動

交通安全母の会が郷の駅ホッときもべつ駐車場で「無事故の日」啓発活動を行いました。会の皆さんがドライバーに「シートベルトの全席着用」、「飲酒運転の根絶」と書かれたチラシなどを配布し、交通安全を呼びかけました。

7/5 きもべつWAO大臣表彰報告

NPO法人きもべつWAOが第33回「みどりの愛護」功労者国土大臣表彰を受賞し、町長へ受賞報告をしました。代表の山本浩一（やまもとこういち）さんは「国道276号のパーキングエリアの継続的な花壇管理、清掃活動が功績として認められ嬉しく思います。これからも道路景観が保たれるよう、活動を続けてまいります」と今後の抱負を述べました。



7月下旬 クレードル興農(株)喜茂別工場 アスパラガス缶とピクルスが製造されました

クレードル興農(株)喜茂別工場で、およそ30年ぶりにアスパラガス缶、ピクルスの製造が行われました。今年は約30トンのホワイトアスパラが製品加工され、作業員の皆さんにより丁寧に洗浄から殺菌、箱詰めされた製品は、7月下旬に全道各地に出荷されました。

7/5 第72回「社会を明るくする運動」地区内巡回啓発が行われました

羊蹄山麓7ヵ町村の保護司や人権擁護委員など11名が「社会を明るくする運動」キャラバンとして喜茂別町役場を訪問し、内村俊二（うちむらしゅんじ）町長に総理大臣メッセージなどを伝達しました。全国各地で行われている「社会を明るくする運動」は、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、犯罪のない地域社会を築くことを目的としています。

地域おこし協力隊の活動報告

● 地域おこし協力隊
本間（ほんま） 晃介（こうすけ） さん

木材を使った特産品開発の一環として、町内の方に助言をいただき「モルック」を2セット製作し、喜茂別中学校に寄贈させていただきました。後日、生徒たちが楽しみながらも白熱した試合をしているところを見ていると作った甲斐があった!と思いました。今後は喜茂別町の魅力を情報発信していくことはもちろん、木材を使った特産品の開発にも力を入れていきたいと思いますので、応援よろしくお願いします!

※「モルック」…フィンランド発祥の投擲競技で、棒を投げてピンを狙う棒倒しのスポーツ

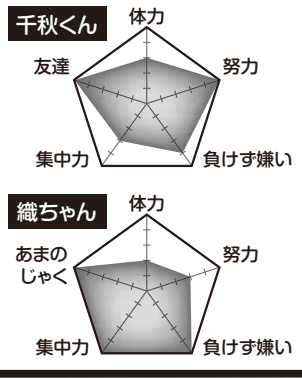
● 地域おこし協力隊
田嶋（たじま） 萌々子（ももこ） さん

シンボルポイントパークの今と昔

こんにちは、地域おこし協力隊の田嶋です。最近は「時層写真」についての取り組みを行っています。皆さんは「時層写真」というものをご存知ですか?「時層写真」とは今現在の風景に昔の写真を重ねて写真を撮ったもののことをいいます。どなたでも簡単に出来ますのでぜひチャレンジしてみてください!喜茂別町の歴史文化等の情報をお持ちの方はぜひご提供願います!

今月のスポーツHERO

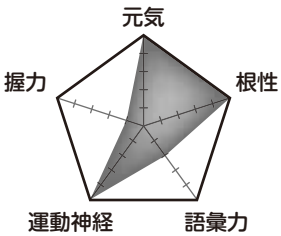
本コーナーでは、町内で活躍するスポーツ選手を紹介しています。紹介したい方がいらっしゃいましたら、下記お問い合わせ先までご連絡ください。



喜茂別剣道少年団
谷藤（たにふじ）兄妹（ちあきおり）（千秋・織）
剣道

千秋くんは映画の登場人物に憧れて剣道を始めました。先日の大会では、敗れてしまいましたが、持ち前の負けず嫌いの性格から、大会後は20時まで稽古に励んでいます。織ちゃんはお兄ちゃんの道着姿を見て「カッコいい!」と思い剣道を始めました。年長さんにも関わらず、まっすぐ竹刀を振る姿はとても凛々しく、先生方にいつも褒められています。「世界一強くなる。だからずーっと剣道ができる警察になりたい。でも美容部員にもなりたいな。」と語ってくれました。

KRファイターズ
長岡（ながおか） はな美（み）
野球　ライト



小さい頃から兄の影響で野球をたくさん見てきて、女の子も試合に出ている姿が「かっこいい」と思い、小学校2年生の時に野球を始めました。しかし年々チームの人数が減り、小学校4年生の時には女子選手が一人になってしまい、少し不安な時もありましたが、今は「男子に負けずに頑張るぞ!」という気持ちで日々練習に励んでいます。冬はクロスカントリーでも活躍しています。アイドルのNiZiUが大好きです。

お問い合わせ先:まちづくり振興課まちづくり振興係　電話:33-2211　IP:33-5005

お知らせ

納期限のお知らせ

納期内に納めましょう！納付には便利な口座振替がおすすめです。

■納期限　8月31日(水)
○町道民税(第2期)
○国民健康保険税(第3期)
○後期高齢者医療保険料(第3期)

■お問い合わせ先
〈町税・国保税について〉
住民課税務室税務係
電話　33-2211
IP番号　33-5011
〈後期高齢者医療保険料について〉
住民課住民係
電話　33-2211
IP番号　33-5007

介護保険料(普通徴収)納入期限のお知らせ

令和4年8月の介護保険料(普通徴収)第2期の納入期限は次のとおりです。忘れずに納めましょう！

■納入期限　8月25日(木)
※年金から徴収されている方(特別徴収)に関しては該当しません。

■お問い合わせ先
元気応援課福祉係
電話・IP番号　55-5101
後志広域連合介護保険課
電話　55-8013

ツール・ド北海道が開催されます

国際自転車競技連合公認の自転車ロードレース「ツール・ド北海道」が9月9日(金)～11日(日)までの3日間で開催されます。今大会は、国内外から15チーム75名の選手が出場予定となっており、道央地域の山岳コースを中心に530kmを走破します。

※11日(日)第3ステージは喜茂別町内(国道276号留産～双葉方面)を通過します。

日　程	ステージ	経　路	距離(km)
9月9日(金)	第1ステージ	札幌市～余市町～共和町	171
9月10日(土)	第2ステージ	倶知安町～蘭越町～倶知安町	186
9月11日(日)	第3ステージ	倶知安町～伊達市～苫小牧市	173

喜茂別町健康セミナーが開催されます

「腎臓のお話～おしっこから見直す健康な身体づくり～」をテーマに喜茂別町健康セミナーが開催されます。ぜひご参加ください。(参加は予約制です。)

■日時　8月26日(金)　17時～18時
■会場　喜茂別町ふれあい福祉センター
■講師　喜茂別町立クリニック　院長　辻　和彦　先生

■お問い合わせ先　元気応援課健康づくり係
電話・IP番号　55-5831

地区大会優勝・全道大会出場おめでとう!!

【KRファイターズ】

5月22日～6月12日の期間中、後志学童軟式野球大会が小樽市で開催されました。KRファイターズを含む後志管内町村13チームが参加し、熱戦を繰り広げました。KRファイターズは、初戦を12-1、準決勝を12-1と快勝し、決勝戦では余市沢町地区野球スポーツ少年団を相手に、最終回に打者一巡となる猛攻を見せ12-0と大勝、全道大会への出場権を獲得しました。

6月25日～27日にニセコ町で行われた全道大会では初戦に強豪・深川一已(いちやん)バトルスと対戦し、惜しくも敗れはしたものの、目が離せない接戦となり大健闘でした。

【喜茂別剣道少年団】

7月3日に後志中学校剣道大会が喜茂別中学校体育館で開催されました。喜茂別中学校は、団体戦では女子の部で全道大会への出場権を獲得しました。また、個人戦では、男子の部で中学3年の松川朝飛(まつかわあさひ)さんが、相手に1本も取られることなく、5戦全勝と圧巻の優勝を果たしました。直近大会負けなしという実力を見せての優勝となりました。個人戦女子の部では、中学1年の大西麻花(おおにしあさか)さんが、出場選手9名によるトーナメントを順当に勝ち上がり、見事優勝を果たしました。決勝戦では、前回大会の決勝戦で負けた相手との対戦となりましたが、2-0と完勝し、屈辱を晴らす結果となりました。団体・個人ともに全道大会での活躍を期待しています！

四季の歌

喜茂別短歌会

花菖蒲(はなしょうぶ)咲きたる傍を通る時
うす紫をしばし見いるらむ
三間恵子

毎月の満月ごとに名前あり
六月の月をストロベリームーン
桑原博美

デイサービス今日は十人ゲームして
おやつは蒸しパン昔懐かし
佐藤百合子

喜茂別の川沿ひ歩き声掛ける
札幌の他人虹鱒見せる
村上正彦

短歌を楽しむ仲間を募集中！
一緒に短歌を詠んだり、鑑賞しませんか？初めての方もお気軽にご連絡ください。
(桑原：電話33-2079)

すくすく 1歳です

前田 寧々(ねね)ちゃん

令和3年8月27日生まれ

毎日かわいい笑顔でみんなを幸せにしてくれてありがとう。これからもお兄ちゃん、お姉ちゃんと仲良しでいてね!

お父さん▶修平(しゅうへい)さん
お母さん▶桃子(ももこ)さん

RALAHY(ララヒ) KALONIRINA(カルニリナ)ちゃん

令和3年8月21日生まれ

HAPPY BIRTHDAY, ALWAYS BE HAPPY and LOVELY!!!

お父さん▶RALAHY(ララヒ) SOLOFONIRINA(スルフニリナ) NIRISAINA(ニリサイナ) さん
お母さん▶SOLOMAMPIONONA(スルマンピュンナ) MAMINIRIVO(マミニリフ) FINARITRA(フナルチャ) さん

人口と世帯

令和4年6月末現在

			前月比	前年比
人口	男	993人	(+ 2 人)	(−36人)
	女	985人	(− 5 人)	(−16人)
	合計	1,978人	(− 3 人)	(−52人)
世帯数		1,147世帯	(± 0 戸)	(−19戸)
外国人登録		62人	(+ 1 人)	(−12人)

広報きもべつ 2022年8月 vol.854

［発行］喜茂別町
電話:0136-33-2211(代) FAX:0136-33-3577
URL:http://www.town.kimobetsu.hokkaido.jp
E-MAIL:info@town.kimobetsu.lg.jp
住所:喜茂別町字喜茂別123番地
［編集］一般社団法人 きもべつ観光協会
電話:0136-33-3122
FAX:0136-55-8775
住所:虻田郡喜茂別町字喜茂別293番地1
地域振興センターみらい
広報きもべつに関して、お気軽にお問い合わせ下さい。

まちのカレンダー

救急当番病院 農農村環境改善センター 鈴鈴川集落センター ふふれあい福祉センター
ク町立クリニック 笑笑み〜な 健健康増進センター 球町営球場 ち ちびっこ広場
館倶知安文化センター 岩岩内町高台84-3☎0135-62-8373 留留産管理棟
PG町民公園パークゴルフ場 中喜茂別中学校 訓喜茂別小学校 鈴鈴川小学校
保喜茂別保育所 双双葉克雪管理センター プ町民プール 図図書室

8月

1	月	
2	火	
3	水	プ 水泳教室　岩 しりべし弁護士相談(事前予約)
4	木	プ 水泳教室
5	金	プ 水泳教室
6	土	
7	日	
8	月	
9	火	館 運転免許法定更新時講習
10	水	岩 しりべし弁護士相談(事前予約)
11	祝	山の日
12	金	
13	土	ち きもべつ夏まつり
14	日	
15	月	
16	火	館 運転免許法定更新時講習
17	水	中 始業式　岩 しりべし弁護士相談(事前予約)
18	木	
19	金	訓 鈴 始業式
20	土	
21	日	
22	月	館 運転免許法定更新時講習
23	火	
24	水	岩 しりべし弁護士相談(事前予約)
25	木	
26	金	ふ 喜茂別町健康セミナー
27	土	
28	日	
29	月	
30	火	
31	水	岩 しりべし弁護士相談(事前予約)

土 日 祝 救急当番病院　倶知安厚生病院

8月は「北方領土返還運動強化月間」です

ロシアによって不法占拠されている北方四島(歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島)の早期返還の実現は、道民はもとより国民の長年にわたる悲願です。早期返還を目指し、断固たる決意と熱意で返還要求運動を推進しましょう。

喜茂別町では、役場正面玄関入口横に「北方領土返還要求署名コーナー」を設置しておりますので、来庁時にはぜひ署名活動にご協力ください。